

# スクールホットライン

## 「部活動・春の大会」

from 豊山中学校

四月の下旬から五月の下旬にかけて、部活動の春の大会が地区内各地で行われました。この大会に向けて、生徒たちは毎日一生懸命練習に取り組んできました。平日は朝早くから練習に取り組み、土・日曜日もほぼ毎週活動しました。生徒たちが毎日練習に励むことができるのも、ご家庭の協力があるからです。大会でも多数のみなさんに応援をいただき、ありがとうございます。

主な結果は以下の通りです。

- 女子バスケットボール 地区大会優勝
  - 女子卓球 (団体) 地区大会優勝
  - (個人) 脇本瑞月 地区大会第二位
  - 伊藤舞香 地区大会第三位
  - ソフトボール 地区大会第三位
  - 女子バレーボール 地区大会第三位
  - 男子テニス (団体) 地区大会第三位
  - (個人)
  - 吉岡龍・大崎公輔 地区大会第三位
  - 男子卓球 (団体) 地区大会第三位
  - (個人) 齊藤杏 地区大会第二位
- 大会の結果はそれぞれでしたが、どの部活動も今回の大会の反省をいかに、夏の大会に向けてがんばって練習に取り組んでいます。夏の大会は三年

生にとつては最後の大会となります。今後とも応援をよろしくお願いします。



### 第一百七十九話

### 苗田の害虫駆除

今の農家は、機械化が進むと同時に化学化も進み、トラクターで田植えをしたり稲刈りもします。稲につき害虫も、農薬やカルガワ農法で効率よく除去されています。

このような農法が進歩する前は、稲作が始まったころからあまり変わりなく、人間の手によりコツコツ害虫を駆除していました。

戦前の小学生は、田んぼの害虫駆除も仕事でした。

その害虫駆除は、田植え前に苗田で苗がだいぶ成長する頃二回行いました。学校で一日、農業の先生から駆除の話聞き、通学団別に苗田の害虫駆除をしました。各々、たもを持って苗の上面をすつすつと払うと、蛾や青虫がよく取れました。用意したバケツに入れますが、少しの時間でもうじゃうじゃと気持ちの悪いくらいたくさん集まりました。

また、各自で二化螟虫の卵も採取しました。素足で田んぼに入り、苗の葉を見ます。よく見ると葉の裏側に白い卵の塊があります。黒みがかったものもあります。他より早く田植えをした田んぼは、蛾や青虫にとつてはおいしい餌を二か所に置いたようなものから、あちこちから集まってくるので、一回

に多く取れました。一本一本丁寧に採取して、



学校へ持っていきます。捕獲した数により、奨励の意味を込めて鉛筆やノートがもらえました。

こうして、小学生といえども農業の労働力となり、食糧増産の大事な担い手として働いたものでした。

今のように、塾とおいこ事に通うか、携帯ゲーム機で遊ぶ子どもたちからは想像もできない時代でしたが、田んぼに入ったり虫に触れたりしながら、人間が生きていく術を身につけていました。今は昔の物語です。

(豊山町文化財研究会の郷土文集を参考にしました)

